



指導力向上の仕組みの構築～教科部会の実際～

豊陽中学校では、全教員の指導力向上を目指し、全教科の教科部会を組織的・計画的に行っています。今号では豊陽中学校の教科部会の実際について紹介します。

教科部会の概要

5教科、保体、その他の実技教科の7部会の教科部会が時間割に位置付けられており、隔週(1回40分程度)で確実に実施できるようにしています。

本部会では主に「**授業改善テーマ**」に沿って協議しています。

豊陽中学校 授業改善テーマ

言葉を大切に、
仲間・学習とつながる授業づくり
～言語活動の充実を図り、話す(書く)力を育てるための「**キーワードの活用**」と「**交流活動**」の工夫～

【教科部会について豊陽中学校の先生方の声】



ミドル教員

校内の**授業改善テーマ**に沿って、各教科内で指導や学習活動などの具体を共有しています。また、生徒がどこでつまづいたかなどを話し合うことで、授業改善の視点を明確にし、指導力向上につなげています。様々な年代の先生方と話をすることができるので、私自身も新たな気づきがあります。

教科部会があるので、授業づくりについて分からないことなどを相談でき、自信をもって授業に臨むことができます。



若手教員

教科部会の実際(英語科)

授業改善テーマ「**キーワードの活用**」についての協議場面

先生たちの授業では、どのような**キーワード**を挙げていますか。具体とその理由を教えてください。



2年生では、振り返りの充実を図るために、**振り返りに使ってほしいキーワード**を挙げています。

3年生では、**本文の読解を助けるキーワード**を挙げています。「手話」に関する内容なので、「Sign Language」をキーワードに挙げています。

1年生では、**文法用語と文法に関する単語をキーワード**として挙げています。また、前時で学んだ文法に関する単語を、学びの足跡として提示しています。

次回の教科部会までに各自が取り組む内容を明確にする。

次の授業では、前時に学んだ復習として、「キーワード」を挙げ、生徒の理解の手立てとなるよう使ってみたいと思います。



教科部会で大切にしていることは、全学年で共通して行う取組を組織的に推進していけるよう、**教員のベクトルを合わせる**ことです。

個人ではなく、「学校全体として、授業改善を推進していくこと」が生徒の資質・能力を向上させる仕組みであると実感しています。

